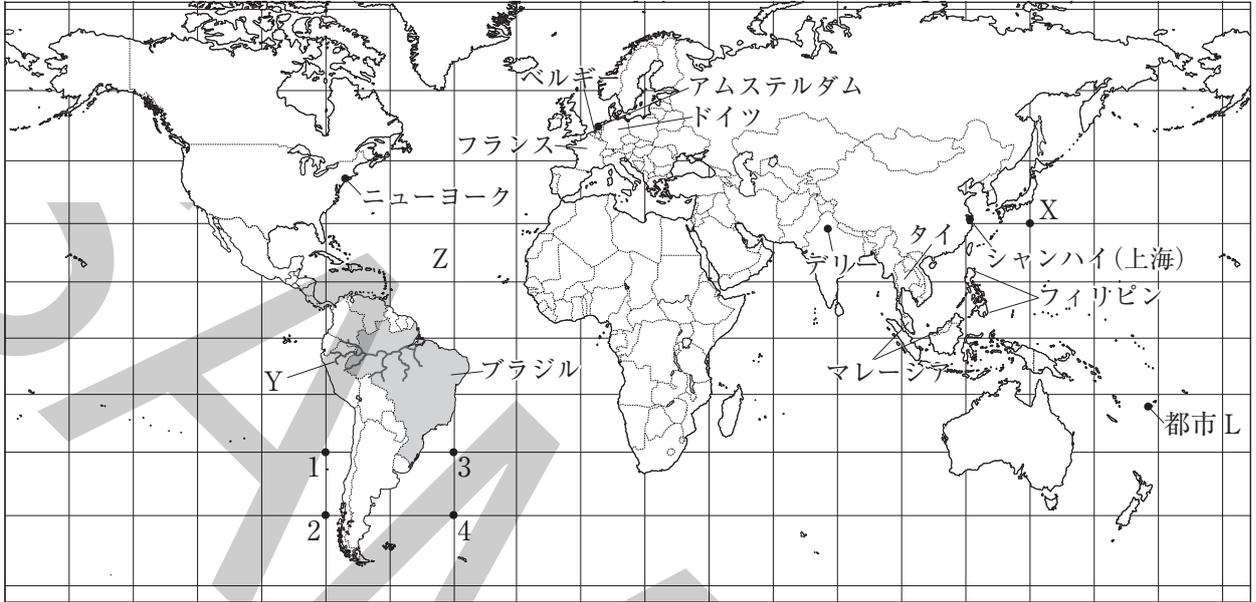


時間

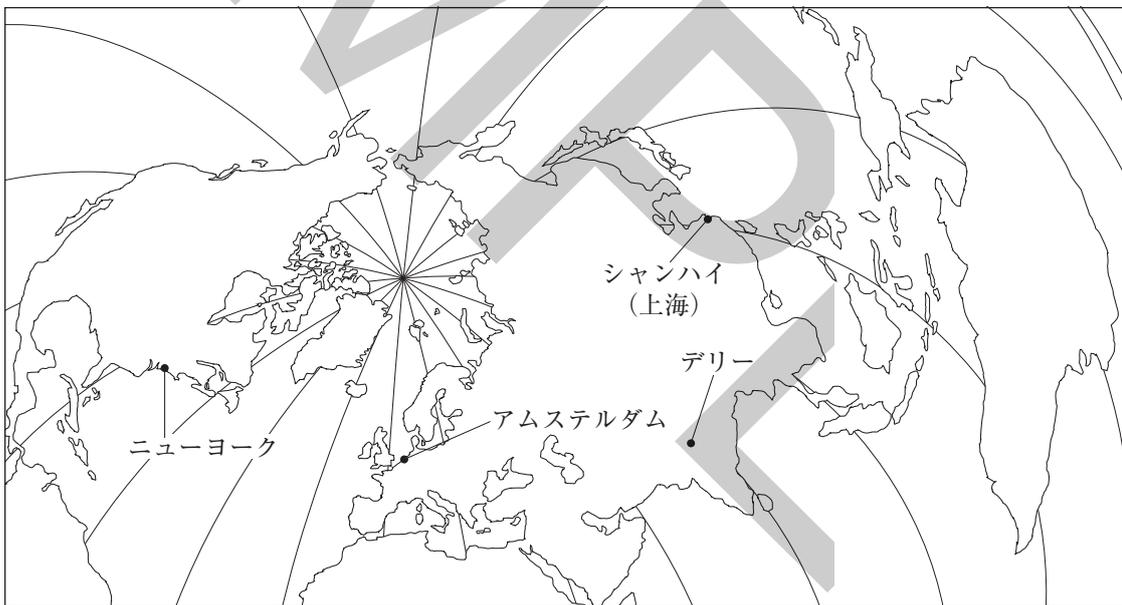


**問4** 次の略地図Ⅰは、緯線と経線が直角に交わった地図である。また、略地図Ⅱは、アムステルダムを中心とした世界地図の一部分を抜き出したもので、アムステルダムからの距離と方位が正しくあらわされている。これらの地図について、あとの各問いに答えなさい。なお、略地図Ⅰは、緯線は赤道から15度ごと、経線は本初子午線から20度ごとに引いてある。また、略地図Ⅱは、緯線は省略しており、経線は本初子午線から20度ごとに引いてある。

略地図Ⅰ



略地図Ⅱ



(ア) 略地図ⅠのXの地点に対して地球の中心を通った反対側の地点として最も適するものを、略地図Ⅰ中の1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。 [                      ]

\*(イ) 略地図ⅠのYの川とZの大洋の名称の組み合わせとして最も適するものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。 [                      ]

- |              |         |              |         |
|--------------|---------|--------------|---------|
| 1. Y : アマゾン川 | Z : 太平洋 | 2. Y : アマゾン川 | Z : 大西洋 |
| 3. Y : ラプラタ川 | Z : 太平洋 | 4. Y : ラプラタ川 | Z : 大西洋 |

(ウ) 次の〔 〕中の〔 あ 〕,〔 い 〕にあてはまるものの組み合わせとして最も適するものを,あとの1~4の中から一つ選び,その番号を答えなさい。〔 〕

略地図Ⅰ及び略地図Ⅱにあるシャンハイ(上海)は,アムステルダムから見てほぼ〔 あ 〕の方角に位置する。また,アムステルダムからニューヨークへ航空機を利用して最短のコースで飛行すると途中〔 い 〕の上空を通過する。

- |         |        |         |        |
|---------|--------|---------|--------|
| 1. あ:南東 | い:スペイン | 2. あ:南東 | い:イギリス |
| 3. あ:北東 | い:スペイン | 4. あ:北東 | い:イギリス |

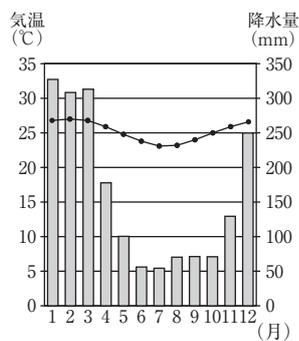
★(エ) 略地図Ⅰ及び略地図Ⅱにあるアムステルダムに住む高校生が,ニューヨーク,デリー,シャンハイ(上海)のそれぞれに住む3人の高校生に呼びかけてインターネット通信を利用した会議を行った。次の〔 〕中の文は,会議に参加した高校生の感想である。なお,会議は,アムステルダムの現地時間で午後1時に始まり,1時間で終了した。〔 〕中の生徒a,生徒bが住む都市の名称の組み合わせとして最も適するものを,あとの1~6の中から一つ選び,その番号を答えなさい。なお,サマータイムの設定はないものとする。

生徒a:私は,朝,学校に行く前に会議に参加しました。一つの問題に対してさまざまな意見があることを知り,おもしろかったです。午前8時に会議が終了し,それから家を出ました。  
 生徒b:私は,夕食をとった後,会議に参加しました。自分一人では気付かなかったさまざまな視点を知ることができ,有意義でした。会議は午後9時に終了しました。  
 生徒c:私は図書室で自習をした後,クラスメートとともに学校のクラブで午後5時30分から始まる会議に参加しました。次回は新しいテーマを提案してみたいと思います。

- |                  |               |
|------------------|---------------|
| 1. 生徒a:シャンハイ(上海) | 生徒b:デリー       |
| 2. 生徒a:シャンハイ(上海) | 生徒b:ニューヨーク    |
| 3. 生徒a:デリー       | 生徒b:シャンハイ(上海) |
| 4. 生徒a:デリー       | 生徒b:ニューヨーク    |
| 5. 生徒a:ニューヨーク    | 生徒b:シャンハイ(上海) |
| 6. 生徒a:ニューヨーク    | 生徒b:デリー       |

(オ) 次のグラフは,略地図Ⅰにある都市Lの月ごとの平均気温と降水量をあらわしたものである。都市Lの周辺で見られる伝統的な住居の説明と都市Lの周辺でつくられる伝統的な料理の組み合わせとして最も適するものを,あとの1~4の中から一つ選び,その番号を答えなさい。〔 〕

グラフ



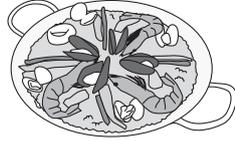
(『理科年表 平成30年』をもとに作成)

- |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. dとf | 2. dとg | 3. eとf | 4. eとg |
|--------|--------|--------|--------|

伝統的な住居

d. 石の壁が厚く窓の小さい住居  
 e. 屋根をやしの葉でおおった住居

伝統的な料理

f. 蒸し焼き料理  
  
 ロボ料理  
 g. 米と魚貝の炊き込み料理  
  
 パエリヤ

(カ) 略地図Ⅰにあるブラジルの1980年、2000年、2015年の輸出上位9品目の輸出金額と輸出総額をあらわした右の表に関して、1980年及び2000年と、2015年とを比較して、ブラジルの輸出品目の変化を説明した次の〔 〕中の〔う〕、〔え〕、〔お〕にあてはまるものを、あとの1～6の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号を答えなさい。

表

1980年		2000年		2015年	
輸出品目	輸出金額 (百万ドル)	輸出品目	輸出金額 (百万ドル)	輸出品目	輸出金額 (百万ドル)
機械類	3,392	機械類	7,429	大豆	20,984
コーヒー豆	2,486	自動車	4,369	機械類	15,246
鉄鉱石	1,564	鉄鋼	3,633	肉類	14,410
植物油かす	1,501	航空機	3,575	鉄鉱石	14,076
砂糖	1,288	鉄鉱石	3,048	原油	11,781
鉄鋼	882	大豆	2,188	鉄鋼	9,728
繊維品	654	肉類	1,927	自動車	9,317
野菜・果実	544	植物油かす	1,651	砂糖	7,641
肉類	541	はきもの	1,618	植物油かす	5,824
輸出総額	20,132	輸出総額	55,119	輸出総額	191,127

(〔数字でみる日本の100年改訂第6版〕『世界国勢図会2017/18年版』をもとに作成)

1980年及び2000年と比較して、2015年においても、ブラジルでさかんに産出される〔う〕が上位5品目に常に入っている。その一方で、ブラジルが生産量世界一をほこる〔え〕は、2000年と2015年では、上位9品目に入らなくなっている。また、1980年と比較すると2000年には部品が多く組み立てが複雑な〔お〕の、輸出総額に占める割合が高くなったが、2015年にはその割合が低くなっている。

- |          |            |           |
|----------|------------|-----------|
| 1. コーヒー豆 | 2. 砂糖      | 3. 肉類     |
| 4. 鉄鉱石   | 5. 自動車と航空機 | 6. 機械類と鉄鋼 |
- う〔 〕 え〔 〕 お〔 〕

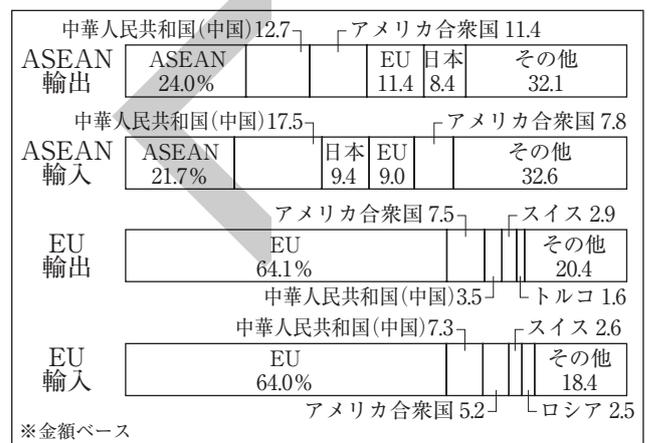
★(キ) 略地図Ⅰのタイ、マレーシア、フィリピンは東南アジア諸国連合(ASEAN)に加盟しており、ドイツ、フランス、ベルギーはヨーロッパ連合(EU)に加盟している。次の資料Ⅰと資料Ⅱを使い、ASEANとEUそれぞれの特徴について、解答欄にあうように100字以内で書きなさい。解答にあたっては、資料ⅠからはASEAN、EU加盟国の文化の特徴を、資料ⅡからはASEAN、EUの貿易相手先の特徴をそれぞれ読み取って書きなさい。なお、文末は句点(。)で終わり、全体の字数に入れること。

資料Ⅰ ASEAN加盟国とEU加盟国の公用語と主な宗教

国	公用語	主な宗教(人口に占める割合)
タイ	タイ語	仏教(83%)
マレーシア	マレー語	イスラム教(60%)
フィリピン	フィリピン語 英語	キリスト教(93%)
ドイツ	ドイツ語	キリスト教(62%)
フランス	フランス語	キリスト教(67%)
ベルギー	オランダ語 フランス語 ドイツ語	キリスト教(57%)

(『データブック オブ・ザ・ワールド2018年版』をもとに作成)

資料Ⅱ ASEANとEUの貿易相手先



(JETRO資料、外務省資料をもとに作成)

ASEANは																			